

第44回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われました

第44回全国消防殉職者慰霊祭が、9月11日（木）日本消防会館（ニッショーホール）において、ご来賓並びにご遺族、全国消防関係者のご参列のもと執り行われました。

日本消防協会では、昭和57年以来、毎年、全国消防殉職者慰霊祭を行っており、今年で44回目となります。

慰霊祭では、日本消防協会旗の入場、開式の言葉の後、秋本会長の「御霊の奉納」の儀、黙祷、秋本会長の式辞につづき、内閣総理大臣、総務大臣およびご遺族代表から「追悼のことば」をいただき、その後、ご遺族、ご来賓等参列者の皆様による献花が行われ、厳粛のなかに式典が執り行われました。

本年は5柱の御霊が新たに合祀され、明治5年からの消防殉職者等の御霊は、5,795柱となりました。

本県からは、新合祀の御霊のご遺族様（4名）、滋賀県代表ご遺族様4組（6名）と会長及び消防局長、協会職員が参列し、先人の遺徳を偲び、感謝申し上げるとともに、施設の充実や訓練の徹底などに尽力し、再び殉職者を出さないよう全国から参加されたご遺族や協会役職員一同、殉職事故の絶滅への決意を新たにいたしました。



日本消防協会旗入場



開式のことば



御霊の奉納



日本消防協会会長式辞



追悼のことば 内閣総理大臣



追悼のことば 総務大臣



滋賀県 新合祀の御霊のご遺族様 追悼のことば



滋賀県 新合祀の御霊のご遺族様 献花



滋賀県代表ご遺族様 献花



滋賀県 消防局長 献花



滋賀県消防協会会長 献花



鎮魂の歌 (木遣り)



日本消防協会会長あいさつ



閉式のことば